

# 職人技！ ～大三島からトクベツな自転車を～



梅澤 雅彦さん

【プロフィール】  
今治市出身  
四国唯一のフレームビルダー  
2019年4月に大三島に移住  
【仕事内容】  
『しまなみ自転車工房HIKO』  
自転車のフレーム製作

高校までは今治に住んでいました。松山の大学に進学すると同時に、父親が経営する自転車店も松山に移転しました。大学を卒業して大阪の自転車関係の会社に2年間勤務した後、松山に帰って父親の店を継ぐ形で、サイクリングショップウメザワを経営するようになりました。

松山から大三島に来た直接の理由は、大三島分校へ通う県外生徒の受け入れのためでしたが、前から考えていた「しまなみで自転車工房を構えたい」という思いもあり、移住を決意しました。

大三島の大好きなところは、自然が豊かなところと、時間的な束縛がなく、自分の時間を自由に使えるところです。移住してきて毎日がとても楽しいです。仕事か休みのときは気持ちよい風を感じながら、大三島をサイクリングしています。

フレームビルダーの仕事は、競輪選手やサイクリストの自転車フレーム製作です。オーダーを受けて図面を引き、フレームのパイプをカットし、溶接し、色を塗ります。県外の競輪選手からのオーダーも多く来ています。最近では、沖縄や青森からの注文が来ました。仕事で大変なところは寸法を間違えずに、正確に作ることです。寸法はミリ単位で調整されており、その人の体格等に合わせた自転車を作るのはとても難しいです。

1台の自転車を作るのには、塗装まで含めると早くても丸3日はかかります。そして、自分の思ったようにフレームを作れるようになるまでに、私は10年ほどかかりました。上手く作るためには、体に染み付いた経験が大事です。何度も調整をすることによって、自分の納得のいく自転車を作ることができます。競輪選手のフレームを作れるNJS（財団法人 日本自転車振興会）公認のフレームビルダーは全国に28人、四国では私1人しかいません。3年に1回、フレームビルダーとしての資質を問われる厳しい審査もあります。今、だんだんフレームビルダーが減ってきているので、これからは大三島で若い人へフレームビルダーの技術を伝えていきたいと思っています。そして、フレームビルダーの存在を広めながら大三島から全国各地にトクベツな自転車を発信していきます。

## 【移住を考える人へ】

大三島は、自然が豊かでとても良い島です。地域の方々みんな優しく、ゆとりを持って自分が思っていた丁寧な暮らしができます。

